

『応急仮設住宅入居高齢者の活動促進に関する調査研究』

< 一坪農園事業 >

報 告 書

平成 26 年 3 月

公益財団法人いきいき岩手支援財団

『応急仮設住宅入居高齢者の活動促進に関する調査研究』

< 一坪農園事業 >

報 告 書

— 目 次 —

第一章	調査研究の概要	
	1 目的	1
	2 実施主体	1
	3 調査期間	1
	4 調査実施場所及び調査時期	1
	5 調査方法	1
第二章	一坪農園の概要	
	1 応急仮設住宅の入居高齢者の現状と課題	4
	2 一坪農園の設置場所と規模	4
	3 一坪農園の開園作業	5
	4 専門家による一坪農園巡回指導	8
	5 農作物の収穫	13
第三章	総括	
	1 農園の設置による効果	18
	2 まとめ	18
第四章	参考資料	
	資料1 各農園の活動状況について	21
	資料2 アンケートの集計	23

第一章 調査研究の概要

1 目的

当財団では、被災地において市町村が高齢者を対象に行う介護予防教室等を支援する介護予防支援事業を実施している。介護予防の効果は得られてはいるが、応急仮設住宅の入居高齢者が活動する場が不足しており、生活機能の低下を防止することが課題となっている。

平成 24 年度に大槌町の協力を得て、応急仮設住宅で閉じこもりがちな高齢の入居者が共同で野菜や花づくりを行う「一坪農園」を設置し、農作業を通じた高齢者の活動促進やコミュニティづくり等への効果について検証することを目的とする。

2 実施主体

公益財団法人いきいき岩手支援財団

3 調査期間

平成 24 年 10 月～平成 26 年 3 月

4 調査実施場所及び調査時期

- | | | |
|------------------|-----------|--------------|
| (1) 吉里吉里仮設第 2 仮設 | 「くじらの宿農園」 | 平成 24 年 9 月～ |
| (2) 大槌第 3 仮設 | 「恵水講農園」 | 平成 24 年 9 月～ |
| (3) 小鎚第 20・21 仮設 | 「生井沢農園」 | 平成 25 年 4 月～ |
| (4) 小鎚第 13 仮設 | 「青空農園」 | 平成 25 年 4 月～ |
| 小鎚第 6 仮設 | 「ひだまり農園」 | 平成 25 年 4 月～ |
| (5) 小鎚第 7 仮設 | 「みどり農園」 | 平成 25 年 4 月～ |
| (6) 吉里吉里第 6 仮設 | 「きただガーデン」 | 平成 25 年 4 月～ |
| (7) 吉里吉里第 5 仮設 | 「堤が丘農園」 | 平成 25 年 4 月～ |
| (8) 吉里吉里仮設 | 「すじやま農園」 | 平成 25 年 4 月～ |
| (9) 赤浜仮設 | 「サンサン農園」 | 平成 25 年 4 月～ |

5 調査方法

- (1) 設置した農園において、入居高齢者の協力を得て、野菜や花を栽培した。

また、専門家による管理指導を実施するとともに、収穫した野菜を使った収穫祭を行った。

各農園の活動状況については、資料 1 に記載のとおり。

なお、「きただガーデン」、「サンサン農園」では、花の苗を植え花づくりをしたため、収穫祭は実施しなかった。

(2) 各農園毎に入居高齢者に対してアンケート調査を実施した。その内容については、資料 2 に掲載のとおり。

なお、平成 24 年度に開園した「恵水講農園」と「くじらの宿農園」については、2 回実施した。

農園名	アンケート回答数		
	平成 24 年度	平成 25 年度	合計
生井沢農園		12 件	12 件
青空農園		7 件	7 件
ひだまり農園		3 件	3 件
みどり農園		7 件	7 件
恵水講農園	3 件	6 件	9 件
くじらの宿農園	10 件	11 件	21 件
きただガーデン		7 件	7 件
堤が丘農園		1 件	1 件
すじやま農園		6 件	6 件
サンサン農園		8 件	8 件
合計	13 件	68 件	81 件(総計)

第二章 一坪農園の概要

1 応急仮設住宅の入居高齢者の現状と課題

- (1) 応急仮設住宅の入居高齢者は、狭い居住環境の中で運動不足になりがちで、それらが原因となり生活不活発病が増えているといわれている。
- (2) 入居高齢者の多くが経験してきた畑仕事は、生活不活発病の予防に効果があるといわれているが、応急仮設住宅群の近くでは畑として利用できる土地がない。また、土地があるとしても応急仮設住宅群から遠く離れた場所となり、入居高齢者が日常的に歩いていき、手入れをするのが困難である。
また、支援物資としてプランターが各家庭に配布されており、そのプランターを用いた野菜づくりは個々に既に実施されているが、共同の農園は設置されていない。
- (3) 応急仮設住宅に入居したことによって、なじみの人たちや場所から離れることになり交流機会が失われる等の環境の変化により、閉じこもりがちな入居高齢者が増えているともいわれている。
- (4) このような現状の中で、入居高齢者の生活機能の低下の防止やコミュニティづくりの促進のため共同利用できる畑のニーズが浮かび上がってきたところである。そのため応急仮設住宅の集会所等の身近な場所に木製の大型プランター（以後、一坪農園という）を設置し、これらの課題に対する効果を検証するものである。

2 一坪農園の設置場所と規模

一坪農園を設置する応急仮設住宅の希望を、当初、大槌町を通じ応急仮設住宅を管理している地域支援員から募ったところ、2箇所（「くじらの宿 農園」と「恵水講農園」）から希望が挙がり、平成24年10月に設置作業を行った。その後、設置による効果を検証し、大槌町の協力を得て町内の他の応急仮設住宅に希望を募ったところ、新たに7箇所の応急仮設住宅から希望が挙がったので、平成25年3月に設置作業を行った。

それぞれの地域支援員と現地で打合せを行い、設置場所及び一坪農園の大きさを決定した。

一坪農園は、木製であるため応急仮設住宅の敷地の広さやニーズに合わせて大きさを自由に調整できるというメリットがあった。

それぞれの農園の規模は、下記のとおりである。

- (1) 「くじらの宿 農園」（吉里吉里第2仮設住宅）
農園の広さ（大きさ）：長さ1.8m×幅0.9m×高さ0.5mの一坪農園を2つ
- (2) 「恵水講農園」（大槌第3仮設住宅）
農園の広さ（大きさ）：長さ1.8m×幅1.2m×高さ0.7mの一坪農園を2つ
- (3) 「ひだまり農園」「青空農園」（小槌第6（第13）仮設住宅）
農園の広さ（大きさ）：長さ1.8m×幅0.9m×高さ0.4mの木枠を2つ

※小鏈第 6 仮設住宅と第 13 仮設住宅は隣接しているため、それぞれに 1 つずつ設置

- (4) 「みどり農園」(小鏈第 7 仮設住宅)
農園の広さ(大きさ):長さ 1.8m×幅 0.9m×高さ 0.4m の木枠を 2 つ
- (5) 「サンサン農園」(赤浜仮設住宅)
農園の広さ(大きさ):長さ 1.8m×幅 0.5m×高さ 0.2m の木枠を 2 つ
- (6) 「堤が丘農園」(吉里吉里第 5 仮設住宅)
農園の広さ(大きさ):長さ 1.8m×幅 0.9m×高さ 0.4m の木枠を 2 つ
- (7) 「きただガーデン」(吉里吉里第 6 仮設住宅)
農園の広さ(大きさ):長さ 1.8m×幅 0.9m×高さ 0.2m の木枠を 2 つ
- (8) 「すじやま農園」(吉里吉里仮設住宅)
農園の広さ(大きさ):長さ 1.8m×幅 0.9m×高さ 0.4m の木枠を 2 つ
- (9) 「生井沢農園」(小鏈第 20 仮設住宅)
農園の広さ(大きさ):長さ 1.8m×幅 0.9m×高さ 0.4m の木枠を 2 つ

3 一坪農園の開園作業

○平成 24 年度

10 月に「くじらの宿農園」(吉里吉里第 2 仮設)と「恵水講農園」(大槌第 3 仮設住宅)の二箇所
所で開園作業を行った。

「くじらの宿農園」においては、予定の時間の前より入居者の方が集まっており、木枠の設
置の段階から手伝っていただく等、積極性が感じられた。

「恵水講農園」では、あいにくの雨模様であったが入居者の方が多数集まり、こちらも関
心の高さがうかがえた。

○平成 25 年度

5 月に一坪農園 7 箇所において開園作業を行った。

開園においては、仮設ごとの要望に応じて野菜の苗を準備した。届いた苗をみて、嬉し
そうな表情になる仮設住民の方が多くみられた。「農作業をすると、嫌なことを考えなくていいな」
という声が聞かれた。

「くじらの宿農園」(吉里吉里第 2 仮設)は、日程の調整がつかなかったため、仮設住民と地
域支援員で後日開園作業を行った。

「きただガーデン」(吉里吉里第 6 仮設)、「サンサン農園」(赤浜仮設)では、仮設住民の方が
花の苗をすでに育てていたため、開園作業は行わなかった。

- ・開園作業の様子
大槌第 3 仮設(恵水講農園)



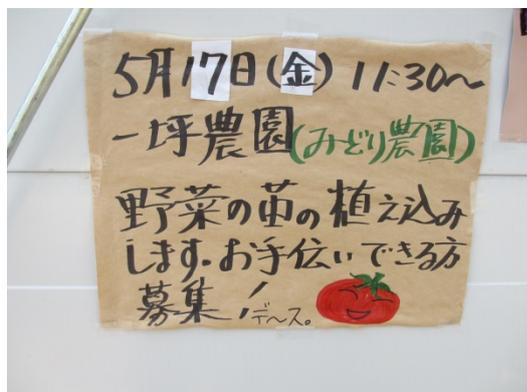
小槌第 20 仮設(生井沢農園)



小槌第 6 仮設、第 13 仮設(ひだまり農園、青空農園)



小槌第7仮設(みどり農園)



吉里吉里第5仮設(堤が丘農園)



吉里吉里仮設(すじやま農園)



4 専門家による一坪農園巡回指導

○平成 25 年度

6月27日に、一坪農園事業を町内9地区で順調な生育を促すため、仮設住民、地域支援員に対して、大船渡農業改良普及センターの協力を得て専門家による管理指導を実施した。

・専門家(講師)：大船渡農業改良普及センター

技術主幹普及課課長 佐藤 弘 氏

同センターOB 小野寺 進 氏

専門家のほうから、積極的に住民の方々に話しかけていただき、和やかな雰囲気で行われた。仮設住民、地域支援員の方々の質問が多く勉強になったとの声が寄せられ、農園に対する関心の高さがうかがえた。

・巡回指導の様子

小錠第20 仮設(生井沢農園)



小錠第6 仮設(ひだまり農園)、小錠第13 仮設(青空農園)



小錠第7 仮設(みどり農園)



大槌第3 仮設(恵水講農園)



吉里吉里第2 仮設(くじらの宿農園)



吉里吉里第6 仮設(きただガーデン)



吉里吉里第5 仮設(堤が丘農園)



吉里吉里仮設(すじやま農園)



赤浜仮設(サンサン農園)



・巡回指導を受けての感想

仮設名	支援員の参加感想	住民さんから参加してみたの感想
大槌第3仮設	<ul style="list-style-type: none"> ・今後育てる点で活かしたいこと。 ・間引きを行っての育成。 ・育てるための資料等が欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の出した質問に対して、親切に答えていただき参考になった。
小槌第6・13仮設	<ul style="list-style-type: none"> ・時間が短かった。 ・13仮設の住民さん達も6仮設の方まで来てわからないこと等、真剣に質問していました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し時間が欲しかった。 ・野菜の育て方説明書をいただいていた良かった。【とても役立った】
小槌第7仮設	<ul style="list-style-type: none"> ・支援員から見た参加住民さんに関する感想 皆さん自分の発砲スチロール箱で作っている方達なので肥料や苗植えの間隔のこと等、真剣な様子がうかがえました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・苗の育て方に関して学べた点 あまり密に植えすぎた。苗は小さくともだんだんにおおきくなるもんだな～との住民の感想

	<ul style="list-style-type: none"> ・時間等の感想 初めてだったので短かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後に生かしたい点 知らないで作っていたので、土の量、肥料の回数など参考になりました。 ・自分の畑をみて頂けたのはとてもうれしかった。自分の作物も見て頂きたかった方がほかにもいたそうです。
小籠第 20 仮設	<ul style="list-style-type: none"> ・支援員から見た、参加住民さんに関する感想 住民の皆さんは用意された資料を手に取りつつ実際育てた野菜と照らし合わせながら、熱心に聞き入っていた光景が印象に残りました。 ・勉強会開催時間に関する感想 時間の長さは問題ないと思いますが、来訪時間は 10 時ころがベターと思います。理由としてはラジオ体操を行っているからです。 それと要望ですが、イベントや来訪スケジュールなど合わせて全戸配布用のチラシなどを作成していただければ周知しやすいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回栽培した中にさやえんどうがありました。虫がつき易いとのことなので、そのアドバイスから今後は人参や大根等に切り替えるヒントを得たので、大変参考になりました。
赤浜仮設	<ul style="list-style-type: none"> ・一坪農園の先生がきて、花や野菜の育て方のお話をして頂きました。6 名の参加がありました。皆さん熱心に花や野菜の育て方(かぼちゃ)などを聞いていました。最初になるきゅうりの花は、実がついていても、もったいないと思わないで摘むなどいろいろ勉強になりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・苗の寝付き方、枯れた花のつみとりかた、害虫の駆除の仕方など今まで自分なりの育て方で植えていたが、教えられたことを参考にし野菜や花を作りたいと思います。ありがとうございました。

<p>吉里吉里仮設</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・きゅうりの病気の見分けと対応が参考になりました。 ・住民さんからいろいろ質問が出ていた様子でした。 ・間引きをし栄養を与える、虫を取る(薬品に頼りすぎない。)等、参考になった。約 50 日後に収穫を行う事など、参考にしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間的にちょうど良い長さであった。 ・先生の説明を参考にしています。
<p>吉里吉里第 2 仮設</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・土が固まらないようにするために水やりは 3 日に一度でよい等、今後の育成に活かせる情報をいただいた。 	<p>開催時間の問題で住民さんの都合がつかなかった。</p>
<p>吉里吉里第 5 仮設</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・佐藤先生のお話から更に育成の方法を知り、住民の方達も参考になっていたように感じる。 ・野菜は農薬を使うより手もみ素手での虫取りがよいとの事で活かそうと思います。 ・時間的に良いです。 	<p>参考になりまし、自分の知識だけとはいろいろ違って参考になった。また、育てた野菜をほめていただいてよかった。</p>
<p>吉里吉里第 6 仮設</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・株が大きくなり風通しが悪くなり枯れたとのこと。下の方の蕾が残っているので上の方を切れば花が咲くことなど確認できた。次回は別の花の育て方も教えていただきたい。 ・時間的にもポイントを押さえての勉強会でよかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての育成で花を枯らしてしまっただが、いろいろ教えて頂いて、とても良かった。花も土も頂いて本当に有難いことです。

5 農作物の収穫

○平成 24 年度

12 月に収穫祭を行った。

収穫祭においては、入居高齢者によりキャベツや白菜を収穫し、収穫した野菜を使った料理の会食を行った。

収穫したキャベツを用いた鮭のちゃんちゃん焼、白菜を用いた鮭のあら汁を調理した。調理の一部を入居高齢者にも手伝ってもらおう等、協力して行った。

自分たちで育てた野菜を調理し、味わいながら交流を深めることができた。

※ 収穫祭においては、当財団が岩手県より委託を受けて実施している「岩手県被災地介護予防支援事業」における介護予防従事者等研修会の料理教室を兼ねて実施した。

試食に併せて栄養士による低栄養予防講話、当財団職員によるレクリエーション等を行った。

「恵水講農園」 平成 24 年 12 月 6 日(木)に実施、参加者約 30 名。

「くじらの宿 農園」 平成 24 年 12 月 11 日(火)に実施、参加者約 40 名。

・収穫祭の様子

「恵水講農園」(大槌第 3 仮設)



「くじらの宿農園」(吉里吉里仮設第 2 仮設)



○平成 25 年度

8月6日～9月24日にかけて、収穫祭を行った。

花の苗を育てている、「きただガーデン」(吉里吉里第6仮設)、「サンサン農園」(赤浜仮設)以外の農園(7ヶ所)にて収穫祭を実施した。

農園で収穫した野菜等を使い、カレーライス、雑穀ごはん、芋の子汁、豚汁、サラダなどの調理を仮設住民の方々とともに行った。

「すじやま農園」(吉里吉里仮設住宅)では、吉里吉里中学校の調理室と中庭を借りて大規模に行った。明治学院大学の学生ボランティアの協力により、会食後にレクリエーションを行ってもらい、仮設住民の高齢者、子どもと大学生の交流を深めることができた。

「生井沢農園」(小鍬第20仮設住宅)では、テレビ局(テレビ朝日)から取材があり、夕方のスーパーJチャンネルの中で放送され、財団の取り組みを広くアピールすることができた。

※ 収穫祭においては、当財団が岩手県より委託を受けて実施している「岩手県被災地介護予防支援事業」における岩手県介護予防教室(大槌町)を兼ねて実施した。内容としては、栄養士による、調理指導及び高齢者の低栄養予防講話等を行った。

「生井沢農園」(小鍬20・21仮設) 8月6日(火)に実施、参加者30名。

「すじやま農園」(吉里吉里仮設) 8月7日(水)、参加者69名。

「堤が丘農園」(吉里吉里第5仮設) 9月2日(月)、参加者14名。

「みどり農園」(小鍬第7仮設) 9月6日(金)に実施、参加者20名。

「青空農園」(小鍬第13仮設) 9月9日(月)に実施、参加者14名。

「恵水講農園」(大槌第3仮設) 9月18日(水)に実施、参加者19名。

「くじらの宿農園」(吉里吉里仮設第2仮設) 9月24日(火)に実施、参加者25名。

・収穫祭の様子

「生井沢農園」(小鍬20・21仮設)



「すじやま農園」(吉里吉里仮設)



「堤が丘農園」(吉里吉里第5仮設)



「みどり農園」(小鎚第7仮設)



「青空農園」(小鎚第13仮設)



「恵水講農園」(大槌第3仮設)



「くじらの宿農園」(吉里吉里仮設第2仮設)



第三章 総括

1 一坪農園の設置による効果

本調査では、応急仮設住宅に一坪農園を設置し、野菜や花を栽培することにより、入居高齢者の活動促進やコミュニティづくり等への効果について調査研究を行った。

活動促進に関しては、アンケートの参加頻度についての平成 25 年度合計欄をみると『週 3～4』が 17 件(全体で 68 件)と最も多く、『毎日』が 11 件と、一坪農園の存在が生活の一部になっており、一定の効果があつたことがうかがえる。

同じくアンケートの外出機会の変化については、平成 24 年度合計欄をみると、半数が外出機会が増えたと回答している。平成 25 年度合計欄では、『増えた』『少し増えた』が合わせて 21 件(全体で 68 件)と、一坪農園をきっかけとして交流の機会が増えた方がいたことがうかがえる。

コミュニティづくりに関しては、アンケートの交流機会についての平成 25 年度合計欄をみると、『増えた』『少し増えた』が合わせて 37 件と全体の 54%を占め、一坪農園をきっかけとして交流の機会が増えた方が参加者の半数以上いたことがうかがえる。外出機会と交流機会とも『変わらない』と回答した方については、一坪農園設置の効果がみられなかったのか、もしくは普段から外出、交流機会が多かったためなのか、その理由については調査できなかった。

一坪農園の開園作業及び専門家指導や収穫祭など、通年を通してイベントを行うことにより、入居高齢者の活動促進、コミュニティづくり両面に一定の効果があつたと考える。特に収穫祭では、調理から入居高齢者に参加してもらい、その後、栄養士の栄養指導等の介護予防教室を実施することにより活動促進が図られたと考えられる。

2 まとめ

平成 24 年度から開始した調査研究事業であるが、一坪農園設置個所の増加、通年を通じたイベント(開園作業、専門家指導、収穫祭)を行うことにより、徐々に参加者が増えていったことから、活動促進やコミュニティづくり両面に一定の効果があつたと考えられる。

震災により住まいや農地を奪われた方々が、以前行っていた農作業を一坪農園に関わることによって行い、少しでも『生きがい』に繋がったのであれば、農園設置の目的の一つである活動促進を図る観点から考えて相応の効果があつたと考えられる。それは、参加者の「農作業をすると、嫌なことを考えなくていいな」の一言が物語っている。

今回、応急仮設団地で設置した一坪農園であるが、木製であるために場所を選ばないこと、大きさ(規模)を自由に設定できることから、現在整備が進められている復興住宅での活用ができるものと考えられる。近くに畑として利用できる土地がない。また、応急仮設団地の現状として土地があるとしても遠く離れた場所となり、入居高齢者が日常的に歩いていき、手入れをするのが困難であるといったことは、復興住宅での生活環境でも同じ状況になる可能性がある。

その場合、「農作業がしたい」といったニーズが出たときに、一坪農園がニーズに応えられる一つの手段になると考えられる。

応急仮設住宅等から復興住宅に移り住む方々が、一坪農園での農作業の体験を通して得られた効果等を活かして、今後、一坪農園が利用されることを期待したい。

第四章 資料編

資料 1

各農園の活動状況について

「恵水講農園」(大槌第 3 仮設)

平成 24 年 10 月 4 日に開園、参加者約 20 名。キャベツや白菜の苗、花を植えた。

平成 24 年 12 月 6 日に収穫祭を実施、参加者約 30 名。

平成 25 年 5 月 16 日に開園、参加者約 10 名。さやインゲン、キュウリ、ほうれん草、山東菜、トマトを植えた。

平成 25 年 6 月 26 日に専門家による管理指導の実施、参加者約 10 名。

平成 25 年 9 月 18 日に収穫祭を実施、参加者 19 名。

「くじらの宿農園」(吉里吉里仮設第 2 仮設)

平成 24 年 10 月 3 日に開園、参加者約 30 名。キャベツや白菜の苗、花を植えた。

平成 24 年 12 月 11 日に収穫祭を実施、参加者約 40 名。

平成 25 年度の開園作業は、仮設住宅住民と支援員で行う。じゃがいもを植えた。

平成 25 年 6 月 26 日に専門家による管理指導の実施、参加者約 10 名。

平成 25 年 9 月 24 日に収穫祭を実施、参加者 25 名。

「生井沢農園」(小鎚 20・21 仮設)

平成 25 年 5 月 17 日に開園、参加者約 10 名。さやインゲン、キュウリ、ほうれん草を植えた。

平成 25 年 6 月 26 日に専門家による管理指導の実施、参加者約 10 名。

平成 25 年 8 月 6 日に収穫祭を実施、参加者 30 名。

「青空農園」(小鎚第 13 仮設)

「ひだまり農園」(小鎚第 6 仮設)

平成 25 年 5 月 17 日に開園、参加者約 20 名。キュウリ、プチトマト、さやえんどうを植えた。

平成 25 年 6 月 26 日に専門家による管理指導の実施、参加者約 20 名。

平成 25 年 9 月 9 日に収穫祭を実施、参加者 14 名。

「みどり農園」(小鎚第 7 仮設)

平成 25 年 5 月 17 日に開園、参加者約 15 名。トマト、なす、オクラ、キュウリ、ピーマンを植えた。

平成 25 年 6 月 26 日に専門家による管理指導の実施、参加者約 15 名。

平成 25 年 9 月 6 日に収穫祭を実施、参加者約 20 名。

「きただガーデン」(吉里吉里第6仮設)

開園作業は、仮設住宅住民と支援員で行う。花の苗を植える。

平成25年6月26日に専門家による管理指導の実施、参加者約10名。

「堤が丘農園」(吉里吉里第5仮設)

平成25年5月17日に開園、参加者約10名。ねぎ、赤カブ、二十日大根、山東菜、トマトを植えた。

平成25年6月26日に専門家による管理指導の実施、参加者約15名。

平成25年9月2日に収穫祭を実施、参加者約14名。

「すじやま農園」(吉里吉里仮設)

平成25年5月17日に開園、参加者約15名。キャベツ、大根、トマト、キュウリを植えた。

平成25年6月26日に専門家による管理指導の実施、参加者約15名。

平成25年8月7日に収穫祭を実施、参加者69名。

「サンサン農園」(赤浜仮設)

開園作業は、仮設住宅住民と支援員で行う。花の苗を植える。

平成25年6月26日に専門家による管理指導の実施、参加者約10名。

資料 2

アンケートの集計

○アンケート調査について

アンケートは、収穫祭の案内を各応急仮設住宅へ配布するのに併せてアンケート調査を依頼した。

収穫祭に参加した入居高齢者から回収した他、収穫祭の日は都合が悪く参加できなかった入居高齢者については地域支援員に回収の協力を得た。

なお、平成 24 年度に開園した「恵水講農園」と「くじらの宿農園」については、2 回実施した。

○アンケート回答数

農園名	アンケート回答数		
	平成 24 年度	平成 25 年度	合計
生井沢農園		12	12
青空農園		7	7
ひだまり農園		3	3
みどり農園		7	7
恵水講農園	3	6	9
くじらの宿農園	10	11	21
きただガーデン		7	7
堤が丘農園		1	1
すじやま農園		6	6
サンサン農園		8	8
合計	13	68	81 件(総計)

1 農園について

年齢

○平成 24 年度

	くじらの宿 農園	恵水講農園	計
～64 歳	2	1	3
65～69 歳	1	2	3
70～74 歳	2		2
75～79 歳	3		3
80 歳～	2		2

○平成 25 年度

	くじらの宿	恵水講	ひだまり	青空	みどり	
～64 歳	2	1	2	3	1	
65～69 歳	2	2	0	3	2	
70～74 歳	4	2	0	1	3	
75～79 歳	2	1	1	0	1	
80 歳～	1	0	0	0	0	
	堤が丘	きただガーデン	生井沢	すじやま	サンサン	計
～64 歳	0	4	4	3	3	23
65～69 歳	0	1	2	1	1	14
70～74 歳	1	0	1	0	2	14
75～79 歳	0	2	3	1	1	12
80 歳～	0	0	2	1	1	5

年齢分布は上記のとおり。

「くじらの宿 農園」では、平成 24 年度、平成 25 年度とも、どの年代もまんべんなく参加しており、80 歳以上の方も参加している。

「恵水講農園」では、平成 24 年度には比較的若い方が参加していたが、平成 25 年度には 70 歳以上の方も参加している。継続することによって、参加者層が広がったことがうかがえる。

平成 25 年度合計欄をみると、『～64 歳』の方が最も多く、『65～69 歳』、『70～74 歳』、『75～79 歳』の方がまんべんなく参加している。

2 農園について感じていること

(1) 参加頻度について

○平成 24 年度

	くじらの宿 農園	恵水講農園	計
毎日	1		1
週に 5~6 日	1		1
週に 3~4 日	3	1	4
週に 1~2 日	2	1	4
不参加	2		2
その他	1		1

○平成 25 年度

	くじらの宿	恵水講	ひだまり	青空	みどり	
毎日	3	0	0	3	0	
週 5~6	2	2	1	0	0	
週 3~4	3	1	1	1	3	
週 1~2	0	1	0	1	2	
不参加	1	2	0	1	2	
その他	1	0	0	1	0	
無回答	1	0	1	0	0	
	堤が丘	きただガーデン	生井沢	すじやま	サンサン	計
毎日	1	2	2	0	0	11
週 5~6	0	1	1	1	0	8
週 3~4	0	1	1	1	5	17
週 1~2	0	2	5	0	2	13
不参加	0	1	1	3	0	10
その他	0	0	2	1	1	7
無回答	0	0	0	0	0	2

一坪農園での野菜や花づくりへの参加頻度は上記のとおり。

「くじらの宿 農園」では、『毎日』が平成 24 年度 1 件に対し、平成 25 年度には 3 件に増加している。2 件ではあるが、継続したことで一坪農園との係りが深くなった方がいることがわかる。

平成 25 年度合計欄をみると『週 3~4』の 17 件が最も多い。『毎日』が 11 件と、一坪農園の存在が生活の一部になっていることがうかがえる。

(2) 外出機会について

○平成 24 年度

	くじらの宿 農園	恵水講農園	計
増えた	3	1	4
少し増えた	2		2
変わらない	5	2	7

○平成 25 年度

	くじらの宿	恵水講	ひだまり	青空	みどり	
増えた	1	0	0	1	1	
少し増えた	2	1	1	0	4	
変わらない	7	5	2	5	2	
無回答	1	0	0	1	1	
	堤が丘	きただガーデン	生井沢	すじやま	サンサン	計
増えた	0	1	1	1	0	6
少し増えた	0	1	1	2	4	15
変わらない	1	5	10	3	4	44
無回答	0	0	0	0	0	3

外出機会の変化については上記のとおり。

平成 24 年度合計欄をみると、半数が外出機会が増えたと回答している。平成 25 年度合計欄では、『増えた』『少し増えた』が合わせて 21 件と、一坪農園をきっかけとして交流の機会が増えた方がいたことがうかがえる。

(3) 交流機会について

○平成 24 年度

	くじらの宿 農園	恵水講農園	計
増えた	1	1	2
少し増えた	3	1	4
変わらない	5	1	6

○平成 25 年度

	くじらの宿	恵水講	ひだまり	青空	みどり	
増えた	2	0	0	3	2	
少し増えた	3	2	2	1	3	
変わらない	5	4	1	3	1	
無回答	1	0	0	0	1	
	堤が丘	きただガーデン	生井沢	すじやま	サンサン	計
増えた	0	2	1	3	1	14
少し増えた	0	3	4	0	5	23
変わらない	1	2	7	3	2	29
無回答	0	0	0	0	0	2

交流機会については上記のとおり。

平成 24 年度合計欄をみると、半数が交流機会が増えたと回答している。

平成 25 年度合計欄をみると、『増えた』『少し増えた』が合わせて 37 件と、一坪農園をきっかけとして交流の機会が増えた方が多くいたことがうかがえる。

(4) 農園ができてよかったか

○平成 24 年度

	くじらの宿 農園	恵水講農園	計
よかった	9	2	11
ややよかった	1	1	2
ややよくなかった			
よくなかった			

○平成 25 年度

	くじらの宿	恵水講	ひだまり	青空	みどり	
良かった	8	3	1	5	4	
やや良かった	2	3	0	0	2	
やや良く なかった	0	0	0	1	0	
良くなかった	0	0	1	0	0	
無回答	1	0	1	1	1	
	堤が丘	きただガーデン	生井沢	すじやま	サンサン	計
良かった	1	7	7	5	6	47
やや良かった	0	0	1	1	2	11
やや良く なかった	0	0	1	0	0	2
良くなかった	0	0	0	0	0	1
無回答	0	0	3	0	0	7

一坪農園についての感想は上記のとおり。

平成 24 年度合計欄をみると、全員が一坪農園ができてよかったと回答している。

平成 25 年度合計欄を見ても、『良かった』『やや良かった』が 58 件と全体の 85%を占めており、多くの方ができてよかったと回答している。自身の活躍の場、地域のコミュニティの場としてのニーズを満たしているためと思われる。

(5) 農園以外でやってみたいこと（自由記述）

○平成 24 年度

・花はなんでもいいからいっぱいうえましょう。
・お天気の良い日は歩ける人同志で 30 分位でも散歩したいです。
・参加する人を見ると高齢者が多く、屋外で思いきり笑える交流会してください。

○平成 25 年度

・集会所の前に小屋を作りたい。男性の話し場がほしい。
・手芸好きな人が集まって編み物など。
・お花を植える大きな鉢があると良い。
・土日を利用して、子どもたちや親、高齢者と共に楽しめるフォークダンス等。
・自分の農園を持ってみたい。海の近くに住んでいたが、山あいも良いと思った。
・野菜、花など色々な種類を作ってみたい。男性もできる作業をしたい。
・談話室に来るのが楽しみ。野菜のこと、花のこと、昔のこと、色々とお話することで時間が過ぎていく。
・花が好きだけど、思うように世話ができません。
・お茶っこの会
・盆踊り
・料理教室
・ヨガ
・物づくり
・特にないが、企画があれば喜んで参加したい。
・普段参加しない人も参加できる企画を希望。

一坪農園以外でやってみたいことについての自由記述回答は上記のとおり。

平成 24 年度、平成 25 年度様々な希望があるが、他者と交流する内容のものが多く、外出し、他者と関わる機会を望む傾向がうかがえる。

3 意見・感想（自由記述）

○平成 24 年度

・緑鮮やかに虫も付かずにおいしそうに育ちました。食べるのがもったいないようです。
・今年はおそかったから、来年はもう少し早くすれば良いと思います。
・自分が畑をしている時も色々する事はしたけれど、くじらの宿のような小さな入れものでもこんなりにっぱに出来る。出来たって事はすごくビックリしました。来年は大根もやってみるといいな！
・当日は天候が悪く延期になると思って来ました。立派な農園を作ってくれた方に感謝でした。

○平成 25 年度

・都合で参加できなかつたりすると、あとは手を付けられないし、特定の方の園に感じる。何を植えても楽しみですが、残りの種とか作物とか勝手に独り占めするのはいかがなものでしょうか?そのような状況を見ると参加するのも気が引けますし、残念です。 ※作物を欲しいわけではありません。
・皆さんで収穫祭が出来るので大変良かったです。
・野菜の成長が楽しみです。さといもの育て方がみたいです。
・今までと同じでもよいではないですか。
・2度目の農園、仮設団地で暮らしている間楽しみにしています。後5年?
・収穫されたキュウリやナスなどはいただいてたべましたが、私自身もう少し草取りなどをしてもよかったと反省しています。
・支援員の方々が草花の手入れなど一生懸命やってくださってたいへんありがたく思っております。どうもありがとうございました。
・住民がもっと自由に使えるような農園にしたい。
・限られたスペースに野菜の苗を植えてもらうのはよいのだが、あまりにも多すぎて良い野菜がとれなかったのではないかと思う。
・一坪だけだと限られた人だけで、楽しみがなかった気がします。あと、水が遠くて大変だった。
・まわりの方々に頼りきりで申し訳なかった。一坪農園を見て、自分でもやってみようと思いが付きました。花、野菜なども徐々に増えて、今年はミニトマトがたくさん収穫できた。
・みんな協力しないからやりたくない。自分の花の水やりでたいへんだから。
・今まで野菜不足で、友人から食事の最初に野菜を食べると良いと聞き実行している。一坪農園からトマトなどをいただいてごちそうになりました。
・野菜をいただいて食べています。

<ul style="list-style-type: none"> ・仕事上お手伝いできなくて申し訳ない。収穫した野菜はごちそうになりました。毎日暑い中手入れしてくださっているご近所さんに感謝です。また、企画されたいきいき岩手支援財団様ありがとうございます。
<ul style="list-style-type: none"> ・朝、お地蔵様に会って、一坪農園を眺めて、気持ちが癒されます。元気をいただきました。
<ul style="list-style-type: none"> ・肥料不足を感じた。化学肥料ではなく有機肥料で育てる方法が知りたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・とても心が癒されて楽しかった。皆で出来具合を見て話したり、花が好きなのでどんな花を見ても心が落ち着く。
<ul style="list-style-type: none"> ・何回でも収穫祭をして、お料理をしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・グラジオラス、ジャーマンアイリス、赤いもみじ
<ul style="list-style-type: none"> ・現在花だけなので、野菜もつくりたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・葉ボタン
<ul style="list-style-type: none"> ・スイトピー、チューリップ
<ul style="list-style-type: none"> ・農園にいつも花が咲いていて癒される
<ul style="list-style-type: none"> ・散歩の途中に眺めたり、収穫物もらって食べたりと楽しみが増えた
<ul style="list-style-type: none"> ・きゅうりの成長を眺めるのが楽しみだった。皆で食べておいしかった。今後も花や野菜を植えたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・目が不自由なため作業には参加できないが、収穫物をごちそうになりおいしかった。
<ul style="list-style-type: none"> ・仮設内では野菜の苗を見ることも少ないので、子供たちにとっても良い機会となった。
<ul style="list-style-type: none"> ・収穫して何かを作って食べるということが仮設住民の団結となり良いことだと思う。これからも、今は植えていない野菜、花などなんでもいいから続けてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・スマレの花は見事に咲いてきれいでした。
<ul style="list-style-type: none"> ・仮設ではプランター植えが主なので、プランターにあった野菜や花の種類・肥料などが知りたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・きゅうりは種からだったが沢山なって見ているとおもしろいようでした。土や肥料も良かったからでしょう。みそやマヨネーズをつけて談話室でいただきおいしかったです。